

## 令和6年度 学校評価に係る関係機関職員アンケート（療育センター）

〈回答数〉

47 (リハビリテーション科15、看護師15、地域連携課6、医療課6、庶務課5)

### 〈評価基準〉

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない ? :わからない (%)

|   |                                                                                                     |        |      |      |     |     |      |
|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|------|------|-----|-----|------|
| 1 | 評価項目                                                                                                | 学部等    | A    | B    | C   | D   | ?    |
|   | 児童生徒は、楽しく授業を受けている。                                                                                  | 療育センター | 78.7 | 6.4  | 0   | 0   | 14.9 |
|   | ?を除いてAとBの合計が100%であり、児童生徒が学校や授業を楽しみにしていると評価されている。<br>今後も児童生徒が楽しみに登校する学校であり、分かる・できる・楽しい授業となるように努めていく。 |        |      |      |     |     |      |
| 2 | 評価項目                                                                                                | 学部等    | A    | B    | C   | D   | ?    |
|   | 学校の授業内容は、児童生徒一人一人の能力や発達段階にふさわしい内容である。                                                               | 療育センター | 44.7 | 17.0 | 0   | 0   | 38.3 |
|   | ?を除いてAとBの合計が100%であり、適切に実施していると評価されている。<br>今後とも授業内容の一層の充実改善に努めていく。                                   |        |      |      |     |     |      |
| 3 | 評価項目                                                                                                | 学部等    | A    | B    | C   | D   | ?    |
|   | 学校の授業は、児童生徒一人一人の障害の状態や課題に応じた教材やICT機器が使われている。                                                        | 療育センター | 38.3 | 19.1 | 0   | 0   | 42.6 |
|   | ?を除いてAとBの合計が100%であり、適切に実施していると評価されている。<br>今後とも児童生徒の実態に即した教材の工夫やICT機器の一層の利活用に努めていく。                  |        |      |      |     |     |      |
| 4 | 評価項目                                                                                                | 学部等    | A    | B    | C   | D   | ?    |
|   | 学校の教員は、児童生徒の人格や人権を尊重した指導を行っている。<br>(呼称・態度・言葉遣いなど)                                                   | 療育センター | 66.0 | 17.0 | 2.1 | 0   | 14.9 |
|   | ?を除いてAとBの合計が約100%であり、適切に実施していると評価されている。<br>今後も児童生徒の人格や人権を尊重した指導を実践していく。                             |        |      |      |     |     |      |
| 5 | 評価項目                                                                                                | 学部等    | A    | B    | C   | D   | ?    |
|   | 学校の教員は、児童生徒の安心・安全に配慮した指導を行っている。                                                                     | 療育センター | 53.2 | 27.7 | 2.1 | 0   | 17   |
|   | ?を除いてAとBの合計が約100%であり、適切に実施していると評価されている。<br>今後とも児童生徒の安心・安全の最優先に、療育センター職員の意見等も伺いながら指導していく。            |        |      |      |     |     |      |
| 6 | 評価項目                                                                                                | 学部等    | A    | B    | C   | D   | ?    |
|   | 学校の教員は、身だしなみや言葉遣いが適切である。                                                                            | 療育センター | 61.7 | 29.8 | 0   | 2.1 | 6.4  |
|   | ?を除いてAとBの合計が約100%であり、適切に実施していると評価されている。<br>今後も教職員としてのふさわしい身だしなみや言葉遣いを心がけていく。                        |        |      |      |     |     |      |
| 7 | 評価項目                                                                                                | 学部等    | A    | B    | C   | D   | ?    |
|   | 学校の教員は、児童生徒の連絡や相談などの言葉をかけやすい。                                                                       | 療育センター | 55.3 | 29.8 | 2.1 | 0   | 12.8 |
|   | ?を除いてAとBの合計が約100パーセントであり、良好であると評価されている。<br>今後も療育センター職員との円滑なコミュニケーションに努めていく。                         |        |      |      |     |     |      |

| 8 | 評価項目                                                                                     | 学部等    | A    | B    | C   | D | ?    |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------|--------|------|------|-----|---|------|
|   | 学校と療育センターは、適切な情報共有と連携ができている。                                                             | 療育センター | 36.2 | 53.2 | 4.3 | 0 | 6.4  |
|   | ?を除いてAとBの合計が約100%であり、適切に実施していると評価されている。<br>BがAを上回っているため、療育センター職員の意見等も伺いながら一層の改善充実に努めていく。 |        |      |      |     |   |      |
| 9 | 評価項目                                                                                     | 学部等    | A    | B    | C   | D | ?    |
|   | 学校と療育センターは、災害や事故などに適切に対処できるように、必要な訓練を行うとともに、非常時における連絡系統や役割分担が明確になっている。                   | 療育センター | 42.6 | 31.9 | 2.1 | 0 | 23.4 |
|   | ?を除いてAとBの合計が約100%であり、適切であると評価されている。<br>今後も学校と療育センターの合同訓練を積み重ねつつ、一層の充実改善に努めていく。           |        |      |      |     |   |      |

【総括】

- ・全体的に高い評価をいただくことができた。
- ・?を除いてほとんどの項目が上位評価であり、A評価とB評価の合計が100%である項目が3項目であった。
- ・アンケート結果及び寄せられた意見を踏まえ、教育活動と学校運営の一層の充実改善に努めていく。

# 令和6年度 学校評価に係る関係機関職員アンケート（北海道療育園）

〈回答数〉

4（療育課、リハビリ科）

〈評価基準〉

A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない ?：わからない (%)

|   |                                                                                                                               |      |      |   |   |   |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|---|---|---|
| 1 | 評価項目                                                                                                                          | A    | B    | C | D | ? |
|   | 児童生徒は、楽しく授業を受けている。                                                                                                            | 100  | 0    | 0 | 0 | 0 |
|   | Aが100%であり、児童生徒が学校や授業を楽しみにしていると評価されている。<br>今後も児童生徒が、分かる・できる・楽しい授業の実践に努めていく。                                                    |      |      |   |   |   |
| 2 | 評価項目                                                                                                                          | A    | B    | C | D | ? |
|   | 学校の授業内容は、児童生徒一人一人の能力や発達段階にふさわしい内容である。                                                                                         | 25.0 | 75.0 | 0 | 0 | 0 |
|   | AとBの合計が100%であり、適切に実施していると評価されている。<br>Bが75%あり、充実改善する余地があると評価している方も一定数いると判断される。療育園職員との日常の情報交換や懇談等の内容を参考に授業内容の一層の充実に努めていく。       |      |      |   |   |   |
| 3 | 評価項目                                                                                                                          | A    | B    | C | D | ? |
|   | 学校の授業は、児童生徒一人一人の障害の状態や課題に応じた教材やICT機器が使われている。                                                                                  | 25.0 | 75.0 | 0 | 0 | 0 |
|   | AとBの合計が100%であり、適切に実施していると評価されている。<br>Bが75%あり、充実改善する余地があると評価する方も一定数見られる。療育園職員との日常の情報交換や懇談等の内容を参考に、教材の工夫やICT機器の一層の利活用に努めていく。    |      |      |   |   |   |
| 4 | 評価項目                                                                                                                          | A    | B    | C | D | ? |
|   | 学校の教員は、児童生徒の人格や人権を尊重した指導を行っている。<br>(呼称・態度・言葉遣いなど)                                                                             | 100  | 0    | 0 | 0 | 0 |
|   | Aが100%であり、適切に実施していると評価されている。<br>今後も児童生徒の人格や人権を尊重した指導を実践していく。                                                                  |      |      |   |   |   |
| 5 | 評価項目                                                                                                                          | A    | B    | C | D | ? |
|   | 学校の教員は、児童生徒の安心・安全に配慮した指導を行っている。                                                                                               | 50.0 | 50.0 | 0 | 0 | 0 |
|   | AとBの合計が約100%であり、適切に実施していると評価されている。<br>Bが50%あり、さらに配慮の余地があると評価している方も一定数いると判断される。日常の情報交換や懇談等を通じて安心・安全に関する意見等を伺いながら一層の充実改善に努めていく。 |      |      |   |   |   |
| 6 | 評価項目                                                                                                                          | A    | B    | C | D | ? |
|   | 学校の教員は、身だしなみや言葉遣いが適切である。                                                                                                      | 75.0 | 25.0 | 0 | 0 | 0 |
|   | AとBの合計が100%であり、適切に実施していると評価されている。<br>今後も教職員としてのふさわしい身だしなみや言葉遣いを心がけていく。                                                        |      |      |   |   |   |
| 7 | 評価項目                                                                                                                          | A    | B    | C | D | ? |
|   | 学校の教員は、児童生徒の連絡や相談などの言葉をかけやすい。                                                                                                 | 50.0 | 50.0 | 0 | 0 | 0 |
|   | AとBの合計が100パーセントであり、良好であると評価されている。<br>今後も関係施設職員との円滑なコミュニケーションに努めていく。                                                           |      |      |   |   |   |

| 8 | 評価項目                                                                                                        | A    | B    | C | D | ? |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|---|---|---|
|   | 学校と北海道療育園は、適切な情報共有と連携ができています。                                                                               | 25.0 | 75.0 | 0 | 0 | 0 |
|   | AとBの合計が約100%であり、適切に実施していると評価されている。<br>Bが75%あり、さらに改善の余地があると評価する方も多いと思われることから、北海道療育園職員の意見も伺いながら一層の改善充実に努めていく。 |      |      |   |   |   |

【総括】

- ・多くの項目でA評価とB評価の合計が100%であるとともに、項目1（楽しみな授業）では、A評価が100%となり、本校の訪問教育活動を児童生徒が楽しみにしているとともに、療育園職員の訪問教育に対する期待や満足度が表れていると思われる。
- ・アンケート結果及び寄せられた意見を踏まえ、教育活動と学校運営の一層の充実改善に努めていく。